

## 盲ろう



### 主な特性

目（視覚）と耳（聴覚）の両方に障害のある人のことを盲ろう者といいます。

「盲ろう者」と一口に言っても、その障害の状態や程度はさまざまです。見え方と聴こえ方の組み合わせによって

- 全く見えず聴こえない状態の「全盲ろう」
  - 見えにくく聴こえない状態の「弱視ろう」
  - 全く見えずに聴こえにくい状態の「盲難聴」
  - 見えにくく聴こえにくい状態の「弱視難聴」
- という4つのタイプに大別されます。

盲ろうになるまでの経緯も一人一人さまざまです。

- 盲(視覚障害)から聴覚障害を伴った「盲ベース盲ろう」
- ろう(聴覚障害)から視覚障害を伴った「ろうベース盲ろう」
- 先天的、あるいは乳幼児期に視覚と聴覚の障害を発症する「先天的盲ろう」
- 成人期以後に視覚と聴覚の障害が発症する「成人期盲ろう」といったタイプがあります。

盲ろう者が使用するコミュニケーション手段は、それぞれの障害の状態などにより異なります。

コミュニケーション手段には、音声、点字筆記、指点字、手話、触手話、要約筆記、手書き文字があります。

とくに、盲ベースの人には、指点字・点字又は音声、ろうベースの人には、手話又は触手話が、それぞれ有効な場合があります。

### 必要な配慮

- すぐそばに人がいても、わからない人もいます。そつと手や肩に触れてから、自分ができる方法でコミュニケーションを取りましょう。
- 説明なく手を放すと、情報を得る手段をなくし、不安になる人もいます。
- 見たり、聴いたり、話すこともできない場合もあるため、単独での外出は困難です。

盲ろう者とコミュニケーションができる、専門の通訳・介助員がいます。

特別なコミュニケーション手段を知らなくても、手のひらに文字を書くだけの「手書き文字」という方法もあります。



### ●コミュニケーション例「手書き文字」

盲ろう者の手のひらに指先などで、ひらがなやカタカナ、漢字などを書きます。多くの盲ろう者は手書き文字によるコミュニケーションをとることができます。

